

作物	さとうきび		地域	宮古群島																					
病害虫名	メイチュウ類(カンシャシンクイハマキ・イネヨトウ)																								
調査結果	2 月の発生量 (平年比)	やや多																							
予 報	2 月からの増減傾向	—																							
	3 月の発生量 (平年比)	—																							
予報の根拠																									
調査結果																									
芯枯茎率の推移																									
<p><今期と平年></p> <table border="1"> <caption>Core Rotting Rate (%) - Comparison with Average (平年)</caption> <thead> <tr> <th>Month</th> <th>2022年 (%)</th> <th>平年 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>9月</td><td>0.5</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>10月</td><td>0.5</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>11月</td><td>2.5</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>12月</td><td>7.0</td><td>6.5</td></tr> <tr><td>1月</td><td>16.0</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>2月</td><td>16.5</td><td>10.0</td></tr> </tbody> </table>					Month	2022年 (%)	平年 (%)	9月	0.5	0.5	10月	0.5	0.5	11月	2.5	1.5	12月	7.0	6.5	1月	16.0	10.0	2月	16.5	10.0
Month	2022年 (%)	平年 (%)																							
9月	0.5	0.5																							
10月	0.5	0.5																							
11月	2.5	1.5																							
12月	7.0	6.5																							
1月	16.0	10.0																							
2月	16.5	10.0																							
<p><過去 2 年></p> <table border="1"> <caption>Core Rotting Rate (%) - Past 2 Years</caption> <thead> <tr> <th>Month</th> <th>2020年 (%)</th> <th>2021年 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>9月</td><td>0.5</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>10月</td><td>2.5</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>11月</td><td>9.0</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>12月</td><td>6.0</td><td>8.0</td></tr> <tr><td>1月</td><td>2.5</td><td>15.0</td></tr> <tr><td>2月</td><td>7.0</td><td>15.0</td></tr> </tbody> </table>					Month	2020年 (%)	2021年 (%)	9月	0.5	0.5	10月	2.5	1.0	11月	9.0	4.0	12月	6.0	8.0	1月	2.5	15.0	2月	7.0	15.0
Month	2020年 (%)	2021年 (%)																							
9月	0.5	0.5																							
10月	2.5	1.0																							
11月	9.0	4.0																							
12月	6.0	8.0																							
1月	2.5	15.0																							
2月	7.0	15.0																							
<ul style="list-style-type: none"> 茎内で発見したメイチュウ類は、全てイネヨトウであった。 発生ほ場率95.0% (平年 : 94.4%) 																									
防除のポイント																									
<ul style="list-style-type: none"> ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。 ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間に散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。 植え付け時及び培土時に土壤害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。 																									

